

製品仕様書		承認	確認	作成
型録番号	KC1230HNF		極配置	
製品名	OA パラタップ (12ヶ口) コードセット ノイズフィルタ付			
定格	接地形 2P 15A 125V			
索引				
1. 適用範囲				1 頁
2. 型録番号, 品名, 定格及び電気用品安全法				1 頁
3. 外観, 構造, 寸法, 材料及び色相				1 頁
3.1. 外観				〃
3.2. 構造				〃
3.3. 寸法				〃
3.4. 材料				〃
3.5. 色相				〃
4. 性能				1 頁
4.1. 電氣的性能				1 頁
4.1.1. 絶縁抵抗				〃
4.1.2. 耐電圧				〃
4.1.3. 接触抵抗				2 頁
4.1.4. 温度上昇				〃
4.1.5. 開閉				〃
4.1.6. ノイズフィルタ特性				〃
4.2. 機械的性能				2 頁
4.2.1. 保持力				〃
4.2.2. 外郭強度				〃
4.2.3. コード引止部の強度				〃
4.3. 耐熱性能				2 頁
5. 包装表示				3 頁
6. 関連規格				3 頁
7. 組立図面				別紙
No19-4-8	作成年月日	'03年 1月 20日	改定年月日	'19年 6月 24日

1. 適用範囲

この仕様書は、アメリカン電機株式会社に於いて製造、販売する KC1230HNF OA パラタップ (12 ケロ) コードセット・ノイズフィルタ付について規定する。
(プラグの製品仕様書は別紙による。)

2. 型録番号、品名、定格及び電気用品安全法

型録番号 **KC1230HNF**
 品名 **OA パラタップ (12 ケロ) コードセット・ノイズフィルタ付**
 定格 **接地形 2P 15A 125V**
 電気用品安全法 **特定電気用品適合 (KU1230NF・7112GN-IV・コード)**

3. 外観、構造、寸法、材料及び色相

3.1. 外観

機能上、並びに使用上有害な変形、キズ、ワレ、ヨゴレ、サビ等がないこと。

3.2. 構造

- (1) 構成部品全てによって形状が正しく組み立てられていること。
- (2) 通常の使用状態で、充電金属部に人が容易に触れる恐れがないこと。
- (3) 開閉の際、アークによる短絡又は地絡を生じる恐れがないこと。

3.3. 寸法

寸法、形状は添付図面のとおりであること。

3.4. 材料

構成部品の材料は添付図面のとおりであること。

3.5. 色相

下記色相により、構成されている。

型録番号	本体	プラグ	コード	ホルダーA・B
KC1230HNF	KU1230NF 白色	7112GN-IV 白色	白色	白色

4. 性能

4.1. 電氣的性能

4.1.1. 絶縁抵抗

500V の絶縁抵抗計で、極性が異なる充電金属部間、並びに各充電金属部と非充電金属部との間を測定した絶縁抵抗値は、開閉試験前で 100MΩ 以上、開閉試験後で 5MΩ 以上であること。(但し、ノイズフィルタを外した状態で測定)

4.1.2. 耐電圧

4.1.1 項の試験部に 50HZ、又は 60HZ のほぼ正弦波に近い交流電圧 1250V を 1 分間加圧したときこれに耐えること。

(但し、ノイズフィルタを外した状態で測定)

4.1.3. 接触抵抗

通常の使用状態に於いて、接地極刃受と対応するプラグの接地極刃との接触抵抗は $50\text{m}\Omega$ 以下であること。

4.1.4. 温度上昇

通常の使用状態に於いて、定格電流 15A を通電し、温度がほぼ一定となったとき、刃受部の最高温度上昇値は 30°C 以下であること。

なお、この試験は開閉試験前後に行なう。

4.1.5. 開閉

通常の使用状態に於いて、 15A 125V 力率約 1 を通電し、毎分 20 回の割合で連続 5000 回の開閉を行い、更に 1.5 倍の電流の 22.5A 125V 力率約 1 を通電し、毎分 20 回の割合で連続 100 回の開閉を行ったとき、極間短絡その他使用上有害な故障が生じないこと。

4.1.6. ノイズフィルタ特性

ノーマルおよびコモンモードノイズの減衰性能は以下による。

9.5db 以上 (0.15MHz~3MHz)

26.5db 以上 (3MHz~15MH)

32.7db 以上 (15MHz~30MH)

注 1 : 国際無線障害特別委員会「CISPR」に準拠した伝導ノイズをノーマルおよびコモンモードで 0.15MHz~30MHz の周波数で減衰量を測定。(別紙参照)

注 2 : 接地 (アース) をしない場合、ノイズフィルタ特性が低下します。

4.2. 機械的性能

4.2.1. 保持力

試験用プラグを正しくさし込み、これを引抜く方向に真直ぐに引張荷重を徐々に加え、プラグが抜け出すときの値が 15N ~ 60N の範囲内であること。

なお、この試験は開閉試験前後に行なう

4.2.2. 外郭強度

通常の使用状態に於いて、厚さ 15mm 以上の堅木の平らな板の間に挟み、徐々に押圧荷重を加え、 600N に達したときから 1 分間その値に保持したのち、荷重を取り去ったとき、外郭の破損その他使用上有害な故障が生じないこと。

4.2.3. コード引止部の強度

コードの引出方向に真直ぐにコードと本体の間に徐々に引張荷重を加え、 90N で 1 秒間の操作を 25 回行った時、コード引止部の破損がなくコード接続部のズレが 2mm 以下であること。

4.3. 耐熱性能

$80^\circ\text{C} \pm 3^\circ\text{C}$ の恒温槽内に入れ、7 時間経過ののち取り出し自然に室温まで冷却し点検したとき軟化、変形、膨れ、その他使用上有害な異常が生じないこと。

5. 包装表示

表示事項は、型録番号、品名、定格、数量及び社名等から構成している。

6. 関連規格

JISC8303 配線用差込接続器

JISC8306 配線器具の試験方法

電気用品安全法

以上